

食品パッケージデザインのイメージ分析ツール開発

Development of Image Analysis Tool for Food Packaging Design

製品技術部 万城目 聡・日高 青志
情報システム部 橋場 参生

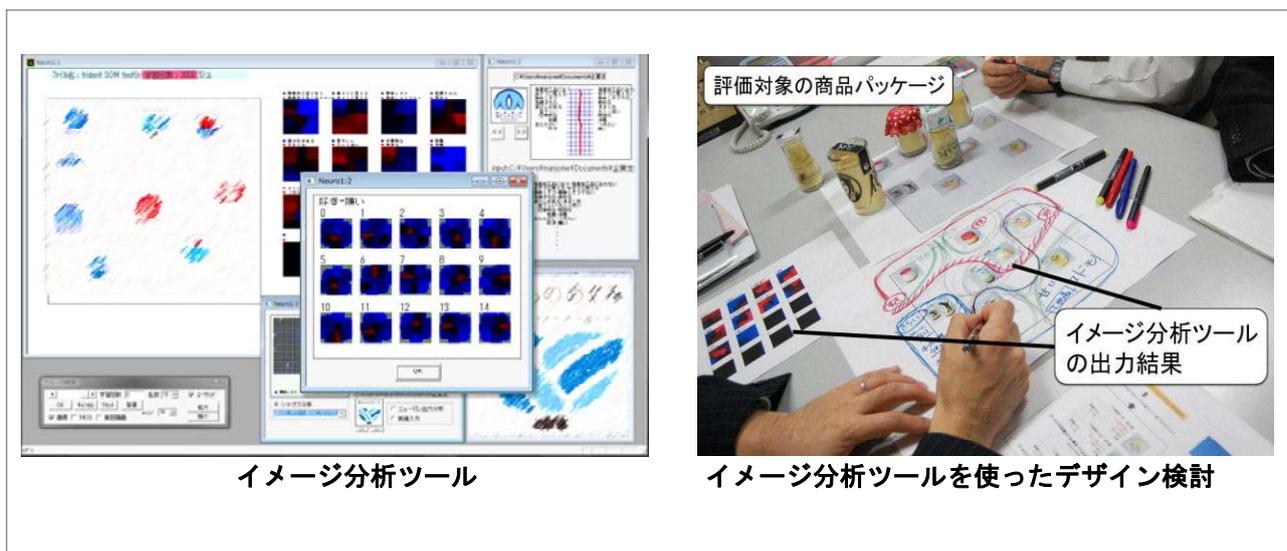
■研究の背景

本道の加工食品は、道外商品と比較して食味では優位であるものの、パッケージデザインの魅力度において評価が低い傾向にあり、顧客の購買機会を失う原因となっています。このため食関連事業者から、顧客視点で魅力ある食品パッケージデザインを開発するための手法が求められています。

本研究では、当社が保有するニューラルネットワークを応用したイメージ分析ツールを利用して、顧客視点のデザインコンセプト検討やデザイン案評価を効果的に支援できる、食品パッケージデザイン分析ツールを開発しました。

■研究の要点

1. イメージ分析ツールの機能強化
2. インターネットアンケートシステムの試作
3. 食品パッケージデザイン開発での試行を通じた分析ツールの有効性検証



■研究の成果

1. イメージ分析ツールに分析しやすいマップを効率的に出力できる機能を追加することで作業効率を高めました。
2. イメージ分析ツールに入力するデータ取得のために、顧客アンケートが効率的に行えるインターネットアンケートツールを試作開発しました。
3. 包材商社やデザイン業と連携し、水産加工品や菓子などのパッケージデザイン開発業務でイメージ分析ツールを試行しました。その結果、事業者から「顧客視点のパッケージデザイン開発に極めて効果的。」「パッケージデザイン開発に実践導入したい。」といった評価を得ました。

(株)ティーピーパック